

森と緑の会だより 2007冬号

2007年秋、緑をふやせ！新婚さんが、子ども達が、木を植えました!!!

この秋、3つの大きな取り組みで、新婚さんや養護学校の生徒さんや子ども会の子ども達が木を植えたようすをご紹介します。

？ 11月16日(金)、高知県立日高養護学校で、学校環境緑化モデル事業」完成式典を行いました。この事業は、ローソンが、レジ脇に置いている緑の募金箱と自社からの寄付を原資に積み立てている基金で、全国で50校を対象に敷地内の緑化の取り組みを助成しています。



学校緑化モデル事業 at 高知県立日高養護学校



？ 11月18日(日)、吾川郡いの町グリーンパークほのにある「ふれあいの森」で第8回目となるウエディングフォレストを実施しました。今年は、三翠園で挙式した105組が植樹を希望し、当日は49組が参加。晩秋に咲くマヤマ桜を1本ずつ心を込めて記念植樹を行いました。



第8回ウエディングフォレスト



？ 11月24日(土)、吾川郡いの町の川内子ども会」が、高岡用水路沿い等に、ヤナギ、桜、カエデの3樹種あわせて130本を植樹。この植樹はノーベル平和賞を受賞したファンガリ・マータイさんの植林活動「グリーンベルト運動」を、(社)国土緑化推進機構等が応援しているものです。

MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト in いの町

？ 高知県立日高養護学校では、校内の木々の手入れができておらず、学校裏の親しまれていた桜がテングス病におかされていました。その環境の整備のために、(社)国土緑化推進機構の事業を当会が紹介し、申請したところ採用されました。テングス病だらけだった木々の病気部は除去され、校内の木々や下草もすっきりと手入れされたことによって、学校全体が明るく見えました。式典当日は、基金を出しているローソンから6名、日高村中野益隆村長、高知県教育委員会、当会から小松雄三専務理事等が出席し、記念植樹用のヒマヤ桜2本を生徒とPTAと一緒に植えました。

？ ウエディングフォレストは、三翠園が企画し、いの町に植樹場所の提供のご協力をいただき、当会が植樹準備や実施・植樹後の下草刈り等の管理を行っている森づくりです。2003年からスタートし、第8回目となる今回は、'06年9月から'07年10月までに三翠園で結婚式を挙げたカップルのうち105組が植樹を希望。今回で、合計422組が木を植えたこととなります。植樹の日は、風も強く肌寒い一日となりました。開会セレモニーで、三翠園松尾徹人社長、いの町塩田始町長、当会川合通子理事長が、当日参加した新婚さんカップル49組にあいさつをした後、新しく生活を始めたお二人が力をあわせながら植樹を行いました。

？ MOTTAINAI キッズ植林プロジェクトは、全国で集められている「緑の募金」の中央公募事業で、「グリーンベルト運動」を応援しています。同プロジェクト土佐っ子植樹会では、いの町の川内子ども会と協力して行いました。当日はこの事業のための募金を寄付したローソンから7名、東京からも国土緑化推進機構担当者が参加し、総勢70名で植樹しました。植樹後は、子ども会が育てて収穫した米で作ったおにぎりを食べながらマータイさんの活動のミニ学習会をしました。



かわいみちこ
川台通子理事長

2007年、当会は「緑の募金」をはじめ、森林の整備や緑化の推進に関わる活動の展開に努めてまいりました。これも、関係者の皆様のご支援・ご協力のおかげと心から感謝を申し上げます。

ただ、残念ながら、今年の「緑の募金」実績は、過去最低だった昨年並み、と依然大変厳しい状況であり、今後より一層、効率的な普及啓発活動や事業展開に努めていく必要がありますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

こうした状況にあって、今、私が最も心を痛めておりますのは、香美市の奥物部三嶺系の森です。鹿の個体数の増加に伴い、森の多様な植生が破壊される危機に直面しています。豊かな森林等の自然環境を次世代につなげられるよう、当会は、来年もより一層力を入れてまいります。今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

シリーズ「この人に木きたい」は、年末にあたって理事長のご挨拶に代えさせていただきます。



11月10日の鹿の食害防止ネットの取り付けをしました

伝えたい、設計士を目指す若者に… 木造とは何かを高知大生が全国発信

9月2日(日)から1週間、高知大学生の実行委員長井上將太さんを中心に企画した「森の未来に出会う旅」が嶺北で実施されました。職場体験で「森昭木材」にお世話になった時に、木造の家を増やすには、木材について森からの伐り出しから設計まで学ぶ必要があるとの話に共感し、大学生で企画。当会もその思いを全面的に支援するために、緑と水の森林基金事業として事業費を助成しました。全国に募集したところ、遠くは東北大学や九州から18名が参加。委員会メンバーと同世代で、地元との交流もあり 実りある研修になりました。



上：木造建築は昔は全て手作業だった、と大工さんの組み手の作成等を行いながらの説明に聞き入る。下：研修内容も森から木造建築までの一連のことを学んだ(左：木造で建築中のJA本山を見学。中：9人の土佐派を代表する設計士による講義。右：高知県森林技術センターで木の強度や音響等の試験設備の数々を見学。)

鹿から三嶺の木々を守れ！

総勢90名で、さおりが原-カヤハゲ間のネット巻き

11月10日(土)、今年になって急に目立つようになった奥物部「三嶺系」の森の鹿の食害。鹿の個体数の増加に伴い、笹が広範囲に食べられたり、モミやツガ等幹の樹皮の剥皮等、深刻な被害が拡大しています。そこで、高知中部森林管理署のよびかけに対し、この9月に設立された「三嶺の森をまもるみんなの会」が協力し、一般参加者も含めて総勢90名が13班に分かれ、460本の木々の幹に、食害防止用のネットを巻きました。



上左：開会式での高知中部森林管理署によるネットの巻き方の説明。上右：また新しいヤハゲの被害。下：力をあわせてネットを巻く
この事業のバス代とネット代の一部を当会から助成しました

緑サポーター誕生！

今年度は高知市と四万十市（幡多）の2ヶ所を会場として、6回ずつ行った「樹木医セミナー」。それぞれ、座学と2回の現地視察（現地視察は両方の特色を活かした場所で実施）を行い、高知では48人中40人、幡多では32人中24人が、6回のうち5回を受講し、全国的な資格である緑サポーターへの登録資格を得ました。希望者は、緑サポーターとして登録し、一定の期間を経ると樹木医を試験する資格が得られます。高知県は緑サポーターの数が全国一です。ぜひ樹木医や仲間と一緒に活躍の場を広げていただきたいと思います。



6回目の講義は、公園の木を実際に治療しました

ふれあい2000年の森整備

今年の3月の実施で、秋に手入れをすることを決めたふれあい2000年の森（旧本川村）。11月23日（金）に集まって作業をしました。愛媛県と香川県からも参加があり、久々に再会したメンバーも懐かしかったです。午前中に下草刈りをし、午後は、来年度の活動計画について、小学校に呼びかけて実から育てたどんぐりを植えよう、話し合いを行いました。



晩秋の抜けるような青空に、心地よく汗を流しました

このページに掲載した全ての事業において、緑の募金が活用されています。特に、今回新たに追加した木のおもちゃは、1セットの作成は高知県で集めた「緑の募金」で、あとの2セットは中央公募で採用された「ローソン緑の募金」事業で作成されました。

秋期「緑の募金」へのご協力ありがとうございました

秋期街頭活動を、9月から10月の期間中、積極的に実施しました。本部では、10月6日から3日間の「2007木と緑のフェアと都市緑化祭」や、「南喜ヶ峰フェスティバル」、「刃物まつり」、「高知もくもくランド2007」等、各所で行いました。緑の募金公募事業団体や支部でも、イベントの際に募金箱を置いてよびかけました。



写真は全て「2007木と緑のフェアと都市緑化祭」

右：高知市中央公園北口アーケードでくろしおくんにも協力していただき実施しました。四国森林管理局、高知県森林部、緑の協力員、高知県子ども会連合会緑の少年団、緑の募金公募事業団体等に協力いただきました。

左：2日目の街頭募金では、出発前に、2年連続よさこい「鳴子踊り」を披露。写真上から順に、「上町よさこいぬるこ連」、「サポータージューパス」、桜（高知中央高等学校）のみなさんが、緑の羽根を胸に、ボランティアでPRしてくれました。ありがとうございました。

木のおもちゃ好評につき3セット追加！

木のおもちゃプロジェクトでは、3ヶ月間3園ずつローテーションを組んでおもちゃを配達していますが、このままでは全てに配達するのが開始から3年半後の平成20年後半になり、待たせすぎて申し訳ない・・・と、この11月に新たに3セットを追加し、6セットで効率よく回せるようになりました。また、これまで引取りの際に、遊んだおもちゃを持っていくのはかわいそうなので何かないかな？と、森林ボランティアの小松昇さんと尾崎満さんがどんぐりゴマを作る「森の教室」を行ったところ、大好評。

どんぐりに楊枝をさして回せるようになると、床に寝そべったり友達と競争したりと楽しく大はしゃぎでした。



長坂優-ブラジルの百姓-語る

11月4日(日)、四国森林管理局で、こうち山の日・四国山の日協賛事業として緑の募金セミナー「長坂優講演会」を開催しました。

ブラジルへ入植した時の想像できないほどの苦労や、「地球の肺」と言われる豊かな熱帯雨林が消失している現状や、現在活動をされている植林について語っていただきました。

当日会場で募ったアマゾンの植林活動のための寄付は52,570円も集まり、そのまま長坂さんに託しました。



70名が話に聞き入りました

森の名手・名人100人認定

毎年全国で100人認定されている「森の名手・名人」。今年は、高知県から3人が選ばれました。詳しくは、次号2008年春号で紹介いたしますので楽しみに！

- ・森づくり部門 筒井順一郎氏(そま師)
- ・加工部門 仙頭博臣氏(炭焼き)
- ・森の恵み部門 土居明氏(火振り漁)

ダイド-タケナカビバレッジから寄付

ダイド-タケナカビバレッジ株式会社様(竹中幸市代表取締役)より、4年連続して「緑の募金」へ30万円のご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。

新会員のご紹介 2007年夏号以降、賛助会員に新たに会入いただきました。 順不同

団体/ホテル日航高知旭ロイヤル、医療法人恕泉会
内田脳神経外科 個人/村岡盛志、千葉健、白井裕昭、土居稔(11月末現在:63団体、12個人)
会員は、随時募集していますので、詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。

日常の暮らしの中から森づくり

NCB緑の募金カード

このカードを使ってお買い物するだけで緑の募金。入会時に、便利なマイバッグをプレゼント。入会金・年会費無料。

ホッと一息。森づくり

~「緑の募金」自動販売機~

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標示がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンク
- ・四国キャンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリーアヒポカ犬糞薬・ネスレ)

中国・四国地区緑化推進委員会連絡協議会の総会開催 「中国・四国地区緑化功労者」、中森道雄氏を表彰

11月20日(火)・21日(水)、広島県にて、中国・四国地区9県の緑化推進委員会(高知県は当会)が集まり総会を開催しました。

総会前の「中国・四国地区緑化功労者」表彰で、本年度は当県から、中森道雄氏が表彰されました(上写真左端)。

中森さんは、高知県緑サポーター会会長として緑サポーターの育成や安徽省日中友好の森づくりネットワーク代表として日中の植樹行事に貢献し、子ども達の森林環境教育にも力を入れ、県立月見山こどもの森の管理者として同森の立て直しに尽力したことが評価されました。



広島県の会場に集まった9県の緑化推進委員会

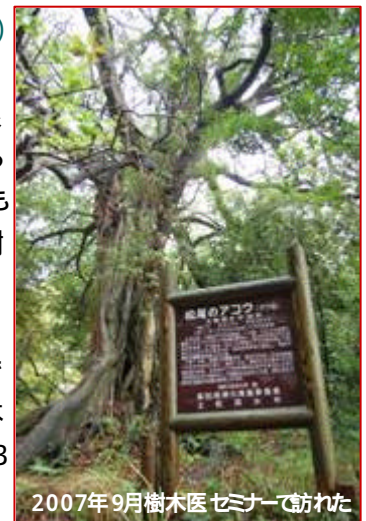
巨樹・古木

森と緑の会の前身、高知県緑化推進委員会の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行き特集しています。

松尾のアコウ(土佐清水市松尾)

土佐清水市松尾には、3株の代表的なアコウがある。アコウは気根が寄主の樹幹を覆い、幹と見える部分は多数の気根の集束したものの。クワ科。3株のうち1株は、樹齢300年とも言われ、周囲が9m、樹高が25mに及ぶ。

土佐のアコウの代表的なものであるとともにその特性を示す標本として貴重といえる。大正13年3月3日、国指定天然記念物。



2007年9月樹木医セミナーで訪れた

- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平 80
高知県森林総合センター内
TEL 0887-52-0072 FAX 0887-52-4177
E-mail info@moritomidori.com
ホームページ http://www.moritomidori.com/

